

新型コロナウイルス対応マニュアル

I マニュアル作成の目的

- ・「学校での新しい生活様式」に対する意識

感染者が出ない状況をつくりながら、継続して充実した教育活動が行われるようにする。

II 基本的な対応

- ・3つの条件が重ならないような配慮・対策の継続
換気の悪い密閉空間、多くの人が密集、近距離での会話や発声
- ・手指衛生や咳エチケットなどの基本的な感染症対策の継続

III 具体的な対応

1 出欠について

場	対応
(1) 欠席	<ul style="list-style-type: none"> ・少しでもかぜ症状のある児童は、自宅で様子を見てもらう。出席停止扱いとなる（家族にかぜ症状があるときも同様）。欠席届は、他の子に預けることはせず（兄弟姉妹以外）、電話連絡をする。 ・高熱、だるい、息苦しいなどの症状が続いている児童には、通院を勧める。 ・感染拡大の状況から、保護者から「休ませたい」と連絡があった場合は、欠席させたい事情をよく聞き、出席停止として扱う。 ・かぜ症状での欠席者には、他の子が予定等を届けることはしない。（予定は電話連絡する。） <p>※職員もかぜ症状のある場合は出勤しない（家族にかぜ症状があるときも同様）。</p>

2 登校について

(1) 家庭での検温	<ul style="list-style-type: none"> ・記録カードに記入（睡眠・体調・体温） →担任が確認し、平熱より高い（37.5℃以上を目安）の子がいた場合、保健室へ連絡する。 ※忘れた子は、昇降口から教室へ行かずに職員室へ移動する。 （正門で校長・昇降口で教務主任が声をかける） →職員室で検温する。→37.5℃以上でない児童は、教室へ入る。
(2) 登校	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校中も密接にならないように、一列で登校する。適切な距離を保つ。 ・基本的にはマスクを着用するが、暑さによっては、外してもよい。外した場合は、会話はしない。 ・昇降口で待つことがないよう7:30以降の登校を徹底する。集合時刻を守り、歩き方にも配慮する。

<p>(3) 健康チェックカードの提出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は、8：00 までに各学級の指定場所へ提出する。 ・担任は、8：10 までに体温記録カードを確認する。 ・2週間分を保健室で保管する。(担任は終了したカードを回収し、保健室へ提出。) <p>※～9/8 元気もりもりカード 9/9～健康チェックカード</p>
<p>(4) 隔離</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱症状のある児童 少しでも具合の悪い児童…①検温は保健室前廊下 <li style="padding-left: 2em;">②即連絡 <li style="padding-left: 2em;">③早退させる。→出席停止 ・迎えを待つ場所、北の子ホール（他との接触を避ける）

3 手洗い・消毒・マスク・換気について

<p>(1) 手洗い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登校後、外から帰ってきたとき、特別教室を利用した後、給食前、トイレ後、掃除後、共有の物を触った後、必ず丁寧な手洗いをする。うがいをする場合は、吐き出すとき、周りに飛沫が飛び散らないよう配慮する。トイレ後の手洗いは特に丁寧に行う。 ・距離が近くなるので、手洗い中はしゃべらない。 ・水道を使ったら、必ず、蛇口等、きれいな水で流す。 ・手を拭くタオルやハンカチは、個人もちを使い共有しない。 <p>※意識させるために放送を流す。</p> <p>※手洗い場に、1 m間隔の順番待ち用のテープを張る。(できるだけ、一つ置きに使用するよう意識させる)</p>
<p>(2) 消毒</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手指消毒は、給食前は必ず実施。その他必要に応じて適宜行う。 ・周辺の消毒を、下記の分担のとおり、1日1回実施。 <ul style="list-style-type: none"> □児童または担任（支援員）：給食前に配膳台消毒 □担任：児童下校後に、ドア取っ手、電気スイッチ、水道蛇口 □級外：児童下校後に階段の手すり □養教：児童下校後にトイレ □担当：特別教室は使用后、使用した教員（またはSSSや支援員）が消毒する（消毒薬を黒板の近くに置いておく） ・共有の物を使用した後は、手洗いまたは手指消毒をする。 <p>※消毒薬は、日に当たらない場所に保管。</p>
<p>(3) マスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日つける。マスクには記名をする。鼻まで覆う。 ・予備を持って来る（なくした用、汚れた用）。 ・給食用でも可。 ・状況に応じて体育の時、登下校時は外しても可。 <p>※外すときは必ずポケットの中にしまう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染のリスクを減らすため、不織布のマスクが望ましい。
<p>(4) 換気</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・欄間は常に空けておく（ベランダ側・廊下側） ・冷暖房の使用中でも、上の窓の対角線上の2か所は10cmほど開けて換気をしておく。 ・休み時間は、下の窓も開けて換気する。(必要な子は上着を用意する。)

	<ul style="list-style-type: none"> ・30分以上教室を離れるときは冷暖房を止め換気をする。 ・教室に児童がいない時間は、下の窓を全開にしておく。
(5) 空気清浄器	<ul style="list-style-type: none"> ・ある（使える）教室は使用する。 ・朝つけ、帰りに忘れずに切る。

4 児童の生活について

(1) 座席	<ul style="list-style-type: none"> ・前向き、可能な限り、最大限の間隔を空ける ・話し合い活動を行う場合は、机の向きや間隔に留意する。
(2) 提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物は登校した児童から提出。密にならないように間隔を空けるなど配慮する。 ・提出物を減らす工夫をする。
(3) 朝読書	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物を出す時間として活用する。待っている間は、読書をする。 ・朝読書の終りに手洗いまたは手指消毒をする。
(4) 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> ・体調不良を訴える場合は、その症状を丁寧に聞き取る。 ・健康観察表へは、具体的な症状を記入する。（熱は〇〇℃など） ・朝の歌は、マスクと十分な換気をし、間隔と向き等に配慮したうえで行ってもよい。
(5) 休み時間	<ul style="list-style-type: none"> ・水分補給は自分の席に座って飲む（水筒を机の横に置いてよい）ロッカーにおいてもよいが、そのままロッカーの前で飲まないように注意←マスクをとって密になるのを避ける ・まん延防止措置、緊急事態宣言中、冷水器は使用しない。 ・遊具の使用は可。 ・鬼ごっこやドッジボールは可とするが、極力、複数の児童による身体接触、密集することはさける。 ・教室へ入る前の手洗いを徹底する。 ・談笑は近づきすぎない、体に触れない等に気をつけさせる。 ・誤って触れたり近づきすぎても、そのことで責めたり冷やかしたりすることが無いよう事前指導をしておく。
(6) 給食	<p>①手洗い（うがい）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混雑を避けるために給食当番→その他の児童の順番で行う。 ・手洗い後、手指消毒をする。 <p>②配膳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下で行う（だいにおんで食べる6年生以外） ・給食をとりに行く時は、班ごと又は列ごととりに行くなど、配膳台の周りに大勢が並ばないように間隔を空けて並ぶようにする。 ・欠席等で当番が入れ替わるときは、だれが配膳したかわかるように給食チェック表に記録しておく。 <p>③食事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数が30人以上で食事時の密が心配なクラスは、広い部屋を使ったり、2部屋に分かれたりして食べる ・前を向いて放送を聞いて食べる。しゃべらない。（クラスターの発生は会食時が最も多い。）

	<ul style="list-style-type: none"> ・配膳されたものは、減らさず食べる。食べられないものは残す。増やすときは、原則として教師または支援員が分ける。 人数が多い場合は、密に並ばないようにする。 ・増やすときは、マスクをしてくる。 ④片付け <ul style="list-style-type: none"> ・食べ終わったら、再度マスクをつけ片付ける。 ⑤歯磨き <ul style="list-style-type: none"> ・まん延防止措置、緊急事態宣言中、強制はしない。 保護者と相談し、歯ブラシを持ってくるかどうか決める。 習慣化している児童は密を避け、間隔をとり、しゃべらずに行う。
(7) 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・配布物などの係は、配布の前後に手洗いか消毒を行う。 ・下校時は、一斉に教室から出て下校するのではなく、時差をつけてクラスから出す。
(8) コロナウイルス対策と熱中症対策	<ul style="list-style-type: none"> ・水分をしっかりと持ってくる。忘れた子は他の子からもらわない。 ・足りなくなって困ったら、担任に相談する。 ・息苦しいを感じたら、迷わずマスクを外す。日陰や教室で涼む。 ・水分補給をこまめに行う。(茶類の水筒+スポーツドリンク可、カバーをすればペットボトルでも可。)
(9) 児童の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・全校で集まる活動は、基本的には放送やmeetで行う。 ・昼の放送は手短にする。マスクをしたまま話す。使ったら必ず消毒をする。 ・まん延防止措置、緊急事態宣言中は、学年単位の活動とする。他学年との交流は行わない(たてわり活動も見合わせる)
(10) 図書室	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室を使う前に手洗いまたは手指消毒をする。 使ったあとも手洗いまたは手指消毒をする。
(11) 保健室	<ul style="list-style-type: none"> ・利用は怪我の子のみ (体調不良者は早退：様子を見て保健室で休ませることはしない。) ・保健室を利用したい場合は、必ず担任(教科担任)に申し出てから行く。担任の許可なくして、自分の判断で行かないように指導。 ・外で出血等、緊急性のある怪我等の場合は、保健室に入って来ないで、養護教諭が外に出て対処する。
(12) 心のケア	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の健康観察や様子の観察において、丁寧に把握する。 ・家庭環境の変化にともなう児童の心身の健康状態で気になる様子や、濃厚接触者の家族については、学校職員全体で共有し、SC、教育委員会等と連携を図る。

5 授業について

<p>(1) 授業中</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ（ペア）での話し合い活動はできるだけ減らす。 ※話し合いができない場面でも、児童の発想を生かした学習問題をつくり、児童の発言やつぶやきを子供がつなぎ、教師が繰り返す学習過程の授業を展開する。 ・話し合い活動をする場合は、「マスクを正しく着けているかの確認、いつも以上に窓を開けて換気をする、話し合いでの声の大きさ（大声にはならない、声のものさし2くらい）と距離の確認」をしてから話し合い活動に入る。 ・まん延防止措置、緊急事態宣言中、話し合い活動において席は立たないようにする。 ・並ぶことはできるだけしない。 ・列に並ぶときには、前後の間隔を1 m以上空けるよう、床にテープを張るなどして、立ち位置を視覚化する。 ・大勢が並ぶことが無いよう、列ごととか班ごととか、5人ずつとか制限する。
<p>(2) 体育授業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ屋外での実施を計画する。 ・熱中症に配慮しながら、運動場で十分な間隔をとって実施する場合のマスクはとってもよい。 ・集合時、軽い準備体操、それほど激しくない運動時など、可能な範囲でマスクをつけている時間をこれまでよりも長くする。 ・まん延防止措置、緊急事態宣言中、攻守入り混じった激しい運動（バスケットボールなど）近距離で組み合ったり接触したりする機会が多い運動は避ける工夫をしたり、内容を入れ替えたりする。 その他、 ・リレーで走った後に並んで待つときの距離をしっかりととり、応援せず黙って待つなどの指導を徹底する。 ・児童が集合整列する場面を避ける（間隔を空ける）工夫をする。 ・授業前後に手洗い、うがいを徹底する。 ・水分を適時摂るようにする。水筒は間隔をあけて置き、飲むときに密にならないようにする。 ・授業開始時には準備運動を十分に行う（運動不足への配慮） ・個人や少人数で、距離をとって行うことができる運動を行う。
<p>(3) 音楽の授業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の換気を十分にする。 ・歌唱指導は、マスクを着けたまま、体の向き、声の大きさ（口ずさむ程度）に十分配慮して行う。 ・単元の中で順番を変え、鑑賞の授業を先に行うなど、感染リスクが少ないものを先に行う。 ・共有の楽器（音楽室にある楽器）などはなるべく使用しない。使用した場合は、使用後に手洗いまたは手指消毒をする。 ・グループ活動などは他教科と同様、一定の距離を保ち、気を付けながら行う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒にいる手遊び歌などは避ける。もしくは個人でできるよう工夫する。 ・まん延防止措置、緊急事態宣言中は、リコーダーや鍵盤ハーモニカ等の「吹く」管楽器演奏は避け、指の練習のみとしたり Chromebook や iPad のキーボードアプリを効果的に活用したりする。
(4) 家庭科授業	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習は、3密を避け、調理器具等の消毒をこまめに行い、自分の食べるものを自分で作るようにして実施する。 ・裁縫実習は、ミシンを2人1台で手指消毒をこまめにしながら行う。 ・実習前後は、手洗いを徹底する。 ・部屋の換気、マスクの着用を徹底する。 ・食べる時教室に戻って机で食べる。 ・まん延防止措置、緊急事態宣言中は、調理実習は行わない。
(5) 外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・距離を一定に保ち、身体接触は避ける。